

## ファンタスティック・ピアノ・コレクション 2011【初級編】

## 1. ララルー ～映画『わんわん物語』より／S.バーク、P.リー

SMFあり ★☆☆☆☆

ディズニーアニメ映画『わんわん物語』の優しい3拍子の子守歌です。子守歌にふさわしく、メロディーを語りかけるように、きれいに歌わせることが最も大切です。出だしのメロディーはあたかも「♪ララルー」と歌っているように、粒の揃ったレガートで弾けるようにしましょう。さらに、この3つの音のフレーズをまとまりとして感じ、ふくらみを持たせて弾くことが目標です。[C]は、同様の歌わせ方を左手でトライする箇所です。伴奏側のパートは、ベースラインの役割とともに、テンポ、リズムを安定させることを重視して、落ち着いたタイミングで鳴らすようにしてください。

## 2. 狼少年ケンのテーマ／小林亜星

SMFあり ★☆☆☆☆

1960年代のアニメ『狼少年ケン』のテーマソングで、テレビCMでの個性的な「替え歌」も話題となりました。CMの「替え歌」バージョンは、ほんわかとしたやわらかい雰囲気ですが、原曲はアニメーションのイメージにもとづいた「勇ましい」曲調となっているので、ここでは、アニメの勇ましい雰囲気もとり入れて演奏しましょう。[A]のイントロは両手のユニゾンになっています。「狼の遠吠え」をイメージして、しっかりとしたタッチで弾いてください。[B]では「替え歌」バージョンの「可愛らしさ」も少し意識してみるなど、タッチに変化を出すと良いでしょう。

## 3. スワニー河／S.C.フォスター

SMFあり ★☆☆☆☆

アメリカの作曲家フォスターは、38年という短い生涯で200曲近い歌曲を残しました。その中でもこの曲は彼の代表的な作品であり、「故郷の人々」というタイトルでも広く知られています。原曲は農場で働く黒人奴隷たちが遠く離れた故郷を思いながら歌う悲しい歌ですが、日本では懐かしいふるさとへの思いを歌った曲として親しまれています。全体に右手のメロディーはやわらかいタッチで演奏し、フレーズの山やブレスの位置をきちんと意識しましょう。左手は右手のメロディーよりも大きくならないように、一つ一つの音を丁寧に演奏してください。特に[C]では、左手のフレーズで強弱変化を表現すると良いでしょう。

## 4. Arrietty's Song ～映画『借りぐらしのアリエッティ』より／C.コルベル

SMFあり ★☆☆☆☆

スタジオジブリ映画『借りぐらしのアリエッティ』主題歌です。ケルト音楽の味わいを持った独特な響きが印象的で、原曲では、歌手のセシル・コルベル本人によるケルティック・ハープが終始バックに流れています。[Intro]の右手はそのハープのフレーズです。力まず、いくぶん神秘的な雰囲気をもって演奏を始めましょう。[A]と[D]は、歌とハープとの掛け合いが表現されており、一つの手の中でいかにお互いの音を区別して演奏できるかがポイントとなります。サビの[C]では、右手だけでなく左手の和音もしっかりと響かせて演奏し、曲を盛り上げてください。[E]では *rit.* の加減にも気を配り、余韻をうまく演出してみましょう。

## 5. キッチンがマイステージ／福原遥

SMFあり ★☆☆☆☆

子どもたちが「食」について楽しみながら学ぶテレビ番組『クッキングアイドル アイ!マイ!まいん!』の2009年度主題歌。歌って踊れる料理番組の司会者として、主人公の「まいん」が日々奮闘する様子を思い浮かべながら、わくわくした気持ちで演奏しましょう。全体に8分音符のリズムは自然にやや跳ね気味（バウンス気味）に演奏すると原曲の雰囲気が出せるでしょう。特に[A]では、体全体でリズムを感じながら元気よく演奏してください。[B]の右手の同音連打のところは、8分音符が転ばないように注意しましょう。曲の最後は両手のタイミングをしっかりと揃え、華やかに締めくくってください。

## 6. ハナミズキ／一青窈

SMFあり ★☆☆☆☆

2004年にリリースされた一青窈の代表的なナンバーで、せつないメロディーと印象的な歌詞が評価され、数々のアーティストがカバーしている名曲です。[A]、[B]の右手のメロディーは、ゆったりと語りかけるように、一つ一つのフレーズを丁寧に演奏しましょう。[C]のサビでは「君と好きな人が百年続きますように」という歌詞のフレーズを思い浮かべながら、祈りをこめて弾いてください。[D]からは転調し、サビを繰り返します。この曲のクライマックスであることを意識し、今までより一層盛り上げましょう。最後の[E]では余韻を味わいつつ、静かに曲を閉じます。

## 7. ワルツ～バレエ音楽「 Coppélia 」より / C.P.L. ドリーブ

SMFあり ★★☆☆☆☆

人形作り職人コッペリウスの作った自動人形（からくり人形）“Coppélia”を題材にしたバレエのための音楽で、この「ワルツ」は、村の少女スワニルダの踊りの場面で使用される特に有名な曲です。スラーやスタッカート、ダイナミクスが細かく書かれているので、それらに注意しながら、優雅で可愛いワルツを表現してみましょう。弾き始めから **A** に入るところで慌ててテンポやダイナミクスが揺れてしまわないよう、入りの雰囲気をよく想定しておいてから **Intro** に入るのがコツです。また、中間部（トリオ）にあたる **C** では、それまでよりもいっそう華やかに弾いてメリハリを付けると良いでしょう。

## 8. カラー・オブ・ザ・ウィンド ～映画『ポカホンタス』より / A.メンケン

SMFあり ★★☆☆☆☆

ディズニーアニメ映画『ポカホンタス』主題歌で、アカデミー賞を受賞したことで話題となりました。ミュージカル調の美しいメロディーが印象的ですが、演奏においてはいかにメロディーを浮き立たせ、美しく歌わせるかがポイントとなるでしょう。右手は4度や6度の和音が頻繁に出ますが、手首に力を入れずしなやかさをもって流れるように弾きましょう。盛り上がりの部分にあたる **B** と **D** では、ドラマティックな流れが作れるように演奏の組み立てを工夫してみてください。また、**D** の入りと終わりでは、場面転換のためのテンポ変化や強弱の意味をよく感じとって、表情豊かな演奏を心がけましょう。

## 9. マイガール / 嵐

SMFあり ★★☆☆☆☆

2009年秋に放送された、嵐の相葉雅紀が主演した同名ドラマの主題歌です。派手な振り付けのない歌唱中心のスタイルをとった歌です。切なくも心温まるストーリーを思い浮かべながら、優しい気持ちで演奏しましょう。一方で、ところどころに現れるリズムの“食い”はかってよくキメてください。**B** の1、2、5小節目の左手はややテヌート気味に弾き、ビートを強調すると効果的でしょう。全体に、「Aメロ」「Bメロ」「サビ」と分かりやすく構成されているので、各セクションの流れを素直に捉えて思い切り良く演奏しましょう。

## 10. ていんさぐぬ花 / 沖縄民謡

SMFあり ★★☆☆☆☆

沖縄に古くから伝わる民謡で、曲名の「ていんさぐ」とは沖縄の言葉で「ハウセンカ」の花のことです。一種の「教訓歌」として歌い継がれ、これまで多くのアーティストたちに採り上げられてきました。ここでは、琉球音階を随所に取り入れながらも、**C** 以降はお洒落なハーモニーも織り込んでアレンジしてあります。その響きも十分に味わって演奏してみましょう。また、**A**、**C**、**E** のメロディーは、ウチナーグチ（沖縄方言）で歌っているようなイメージで、その他のセクションでは三線で奏でるイメージで…など、この曲にふさわしい音色感を念頭に描きながら、ていねいに演奏してみてください。

## 11. サークル・オブ・ライフ ～映画『ライオン・キング』より / エルトン・ジョン

SMFあり ★★☆☆☆☆

ディズニーアニメ映画『ライオン・キング』挿入歌。ポップな曲調にアフリカの民族音楽の味わいをミックスした、野性味あるサウンドが特徴です。**A** は、映画の世界を提示するかのよう堂々と、確信を持って弾きましょう。ここに限らず、主旋律と、合いの手（コーラス）の区別をはっきり意識し、フレーズとして弾き分けることが必要ですが、合いの手を弱く弾くような区別の仕方は必ずしも効果的ではありません。**B** からの同音連打は固くならないように、言葉のアクセントをつけるような感じで柔軟に演奏しましょう。また全体に右手、左手のリズムの絡みが乱れないように、常に16分音符をクリアに意識して弾くことがポイントです。

## 12. Butterfly / 木村カエラ

SMFあり ★★☆☆☆☆

2009年にリリースされ、結婚情報誌とのタイアップもあって大ヒットとなった曲です。基本的にはスピード感のあるロックのリズムが主体ですが、チェンバロを用いたバックングや、メロディー、コード進行など、クラシック調のテイストを加えた色付けが特徴的です。そのようなクラシカルな歌い出しから、**A** の終わりの2小節でギターやドラムが派手に鳴り出すドラマチックな構成をうまく演出しましょう。**B** や **D** での左手のリズム・パターンは、メロディーのリズムに引きずられないよう、しっかり刻みましょう。また、**D** からの右手の3度のフレーズは、できればペダルを上手に使用して、音と音が切れないようにしっかりとレガートで弾いてください。

### 13. トロイメライ/R.A.シューマン

SMFあり ★★★★★

シューマンのピアノ曲集「子供の情景」の中で最もよく知られた曲です。ここでは原曲と少し雰囲気を変え、ジャズ風の和音を盛り込んだポップスアレンジに仕上がっています。とはいえ、タイトルの「夢想」のイメージは十分に生かされているので、夢見る気分と美しいメロディーを存分に味わって演奏しましょう。左手のバックパターンはラテン風ですが、リズムがあまり鋭くならないよう、全体の響きに溶け込ませて軽く、柔らかく鳴らすのが良いでしょう。メロディーの3連符、16分音符等でタイミングを乱さず均一になるように注意して、しっかりテンポを保つこともポイントです。[G]からはバックのミュージックデータの音が消えますので、思い切り自由なテンポで歌い上げましょう。

### 14. G線上のアリア/J.S.バッハ

SMFあり ★★★★★

「管弦楽組曲第3番」の第2曲で、後のヴァイオリン・ソロ編曲にちなんで「G線上のアリア」の愛称で親しまれています。ほぼ全曲にわたる左手の四分音符は、コントラバスの歩みを表現しています。ペダルの使い方にも注意し、音が濁らず、かつ途切れ途切れにならないように、絶妙な音の長さを保って演奏しましょう。全体的に多声部な構造の中で、右手と左手を縫うような各声部の流れにも気を配り、独立性をもってレガートに演奏出来ると良いでしょう。また、メロディーは遅いテンポの中でも弦楽器のなめらかな繋がりを表現できるよう、よくコントロールしましょう。

### 15. ブラジル/アリー・バローゾ

SMFあり ★★★★★

ブラジルを代表する作曲家の一人、アリー・バローゾ（アリ・バホーゾ）の作品で、原題は「アクアレラ・ド・ブラジル（ブラジルの水彩画）」。1943年公開のディズニー映画『ラテン・アメリカの旅』の主題歌としてヒットして以来、サンバのスタンダード・ナンバーとして世界中で親しまれています。曲全体を通して、左手は2拍目と4拍目に重心を置き、スルド（大太鼓）の「ドーン」という低音の響きをイメージしてみましょう。右手はメロディーをしっかりと浮き立たせるとともに、16分音符の付点のリズムがあまくならないように、常にタイトにビートを刻んでください。最後の4小節は徐々に音量を落としていき、穏やかに曲を締めくくります。

### 16. はつ恋/福山雅治

SMFあり ★★★★★

2009年にリリースされた、福山雅治の切ないバラードです。どこか懐かしい雰囲気も感じさせる淡々としたメロディーや、静かに熱く高まる感情を再現したアレンジです。演奏のポイントとしては、冷静にテンポ、リズムをキープする一方で、メロディーで音楽の流れを引っ張っていく表現力が要になります。歌の呼吸をイメージして、丁寧に演奏しましょう。また、コードの微妙な移り変わり（クリシェ・ラインなど）を敏感に意識することも大切です。曲の構成の中でpからfへの感情の幅は存分に広くとりたいですが、この曲に一貫して流れる気だるさ、憂鬱な雰囲気を表現できると良いでしょう。

### 17. ゴンドラの唄/中山晋平

SMFあり ★★★★★

「いのち短し 恋せよ乙女」という有名なフレーズで知られるこの曲は、大正時代に劇団「芸術座」の舞台の劇中歌として作られ、女優・松井須磨子の歌唱で人気が広まりました。後年には黒澤明監督の映画『生きる』の中でも象徴的に歌われ、時代を超えて親しまれています。タイトルの通り、舟歌のリズムを持ったゆったりした曲ですが、ここではジャズバラードのスタイルを中間部に置いたアレンジです。左手はシンプルな4ビートのリズムを安定させつつ、単調な演奏にならないよう、メロディーは自然な揺らぎをもって歌い上げましょう。一方、曲の初めと終わりは、オルゴールのように澄んだ音を響かせ、印象的な対比ができるとう良いでしょう。

### 18. ラ・バンバ/リッチー・バレンス

SMFあり ★★★★★

基本的にはC、F、G7の3つのコードで構成された、ストレートなダンス・ナンバーです。もとはメキシコ民謡ですが、リッチー・バレンス（1958年）やロス・ロボス（1987年）によるロックン・ロール調のアレンジでも広く知られています。ここでも、ビート感を強調したアレンジとミュージックデータとなっているので、細かいことに気をとられすぎず、勢いよく爽快にリズムに乗ることがポイントです。単純なコード進行ながら、曲の場面ごとの色付けや表情を意識して大きな流れを展開させ、力強い演奏に仕上げましょう。アドリブに相当する[D]から、2小節のリズム・パターンになる[E]、意表を突いてエンディングに向かう[F]などの変化を飽きさせずに、音楽的なグラデーションを大切に演奏してください。